

た ち ば な 新 聞

発行所 宝清寺
〒197-0821
東京都あきる野市小川101
電話 042-558-2663

秋川仏教会創立70周年 5月19日に式典と記念講演

講師に池上彰氏 白象を引く稚児行列も

秋川仏教会（会長・志茂成一・天正寺住職）は今年、創立七〇周年を迎えます。五月十九日（土）に秋川キララホール（あきる野市秋川）で式典と記念講演、秋留野広場で様々なイベントを開催します。

同仏教会は、あきる野、日の出、檜原の三市町村にある在来仏教寺院七十五カ寺が所属しており終戦の翌年、西多摩郡仏教会から独立する形で創設されました。当寺二十五世住職石井前恭上人も同仏教会会長を歴任されてきました。

戦後の混乱の時代に住民の心に灯をともし、一貫して秋川流域住民の精神面の支えになって

住職ひと口法話

第五十二回

ことばには不思議な力があります。日本では昔から「言霊」といって、ことばには霊魂が宿っていると言われていました。人の口から出ることばは、時には人を生かし、時には人を殺す。何気なくしゃべった「無意識のことば」が、驚くほど相手を感じさせることがあったり、反対に相手の心にグサリと突き刺さり恨みを買う原因になることもあります。

江戸時代後期の僧であり歌人の良寛が「ことばについての戒め」を残しています。

- 一、ことばの多いこと
- 二、話しの長いこと
- 三、手柄話をすること
- 四、自分の生まれや身分の高いことを人に言うこと
- 五、人がものを言いきらないうちに、ものを言うこと
- 六、たやすく約束をすること
- 七、人に物をあげる前に、何々をあげようと言うこと
- 八、物をあげたことを他の人に言うこと
- 九、よく知らないことを人に教えること
- 十、悲しんでいる人の側で歌を歌うこと
- 十一、人が隠していることをバラすこと
- 十二、目下の人を軽んじること
- 十三、部下に荒いことばを使うこと
- 十四、心にもないことを言うこと

どれ一つとってみても、現代人にも耳の痛いことばばかりです。

ことばは、使う人の人柄が現れるものです。「思いやりの気持ち」や「感謝の心」を忘れず、良寛の戒めを心がけ行動することで、自然と人間関係や自身の環境が良くなると思います。



木像の日蓮聖人像

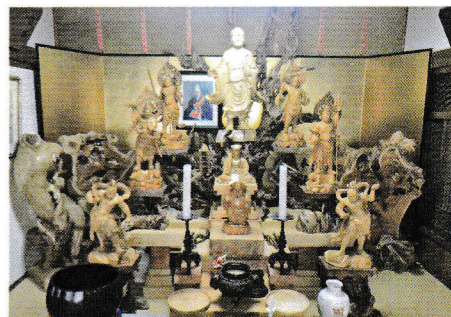


叙勲記念碑

故高木源一氏 四十九日忌埋葬法要 叙勲記念碑除幕式

一月二十八日、秋川市（現あきる野市）の発展に多大な貢献をされた高木源一氏の四十九日忌埋葬法要並びに叙勲四等瑞宝章記念碑の除幕式を当寺本堂・高木家墓前において厳修しました。

また、妻 洋子様より生前源一氏がご自宅で大切にされていた日蓮聖人の木像や衝立など大変貴重な数多くの品々を奉納して頂きました。改めて心より感謝申し上げます。



本堂に奉納された木像と衝立

日蓮聖人の教え

わがはひの幸はこれなり。
法華経の御事は
已前に申しふりぬ。
しかれども小事こそ
善よりはをこて候へ。
大事になりぬれば
必ず大なるさはぎが
大なる幸となるなり。

（四條金吾殿御返事）

慶讃事業 奉納者芳名

（順不同 敬称略）

前号でもご案内しました、日蓮大聖人の降誕八〇〇年慶讃事業（青少年健全育成に向けた活動の促進等）の浄財奉納者の皆様を掲載させていただきます。

- 古 屋 壽 美
 - 萩 島 昭 彰
 - 関 茂 子
 - 矢 崎 夫
 - 下 山 富士子
 - （平成二十九年十二月）
 - 平成三十一年一月末日現在
- 引き続き、宗門の浄財勸募にご協力頂ける方はぜひ宜しくお願いします。
- 【勸募金振込先】
- 一 口 五〇〇〇円
 - 銀行名 多摩信用金庫秋川支店
 - 口座番号 一五〇五八四一
 - 受取人名 宗教法人宝清寺
 - 代表役員 石井前琮

日蓮聖人伝

龍口法難

文永八年（1271年）七月の祈雨決に敗北した極楽寺忍性良観らが幕府に告訴し、同年九月十二日夕刻、平左衛門尉頼綱により、聖人は幕府や諸宗を批判したとして佐渡流罪の名目で捕らえられます。

「外には遠流と聞えしかども内には頸を切べしとて、鎌倉龍の口と申す処に九月十二日の丑の時に頸の座に引きすえられて候き。」

（妙法比丘尼御返事）

しかし、流罪は名目で、実際は腰越龍ノ口刑場（現在の神奈川県藤沢市片瀬、龍口寺）へとだか馬に乗せられ、引かれていったのです。途中、鶴ヶ岡



時宗の使者が「日蓮の首を斬るな」との連絡が向かっており、両者は小さな川で行き合います。その川は「行合川」（ゆきあいがわ）と呼ばれています。

八幡宮にさしかかったとき、日蓮聖人は大声で「八幡大菩薩はまことの神か・・・」と、法華経の行者を守る役目を果たすよう叱りつけました。

源氏の氏神を叱りつけたのですから、役人はびつくりして、あわてて馬を引き立てました。知らせを聞いた信者の四條金吾（しじょうきんご）は、一緒に死ぬ覚悟で駆けつけました。龍ノ口に着いた深夜、いよいよ首を斬ろうと、役人が刀をかまえたとき、龍ノ島の方角から不思議な光の玉が飛んできて、「雷が落ちた」という説も）役人は驚いて逃げ去り、処刑どころではありませぬ。

「日蓮の首斬れませぬ」という早馬が鎌倉に向かい、一方鎌倉からは北条

大智 豪悟氏

健康寿命を延ばす 正しい知識

健康な身体で 長く生きてもらいたい そして生きたい

ご存知の方も多いと思いますが、国立がん研究センターより発表されている、ガンになるリスクを下げる五つの健康習慣の実践とは、

- ①禁煙する
- ②節酒する
- ③食生活を見直す
- ④身体を動かす
- ⑤適正体重を維持する

そもそもガン細胞というのは、普通の細胞から発生した異常な細胞で、自己免疫のおかげで大きくなる前に消えます。しかし、免疫力や体力が弱くなっている期間が長く続くと、次第にガン細胞は成長、増殖し自己免疫では対応しきれず発病します。実はガン細胞

の唯一の栄養源は糖質と言われています。驚かれる方も多いかと思いますが、糖質とは厚生労働省が定めている三大栄養素の炭水化物に含まれる栄養素の一つで、必要以上に摂取して使いきれずに体内に蓄積すると、ガン細胞のエサとなるのです。

私が勉強しているケトジェニックダイエットは、極力糖質を摂取しない食生活を送ることが健康寿命を延ばす身体になるというものです。いきなり白米や小麦粉を食べない習慣にするのは至難の業です。

そこで、ガン予防の第一歩として私が提案するのは、普段口にする飲み物から見直して必要以上の糖質を摂らないということです。飲み物の中に含まれる、果糖ブドウ糖液糖というものは急激に血糖値を上昇させる働きがあり

プロフィール

大智 豪悟（だいち こうご）
東京生まれ、現在は地域おこし協力隊として高知県高岡郡で地域協力活動を行いながら生活。母をガンで亡くしたことをきっかけに、日本人の死因のおよそ三〇％といわれるガンについて、様々な角度から研究。さらには、ラジオパーソナリティや日本フアンクショナルダイエト協会認定のアドバイザーとしても全国で幅広く活躍中。



食器の世界に新しい命を

副住職の妻、石井茂登江

皆様は、「ポーセラーツ」という言葉をご存知でしょうか。ポーセラーツとは、白い磁器やガラス食器に好みの色や柄の転写紙を貼ったり絵の具で柄を描いたり、金彩を施した後、焼き上げを行い、オリジナルのテラリアアイテムを製作するハンドクラフトのことです。

シンプルなお皿やグラスが、まったく違うものに素敵に生まれ変われることに感動した当寺住職の次女である副住職の妻、石井茂登江が日本ヴォーグ社認定ポーセラーツのインストラクターです。

そんなポーセラーツを皆様にも知っていただきたく、製作した作品の一部を寺務所玄関に展示しています。作品の中には、檀信徒の一人、レース切り絵アーティスト蒼山日菜さんの繊細な切り絵の作品を転写し、焼き上げたコラポ作品もあります。

四月頃体験教室も実施予定です。ぜひ、お墓参りの際にもお立ち寄りいただき観賞していただければと思います。

たちばな墓苑 平成三〇年度分 管理料のご案内

たちばな墓苑の管理料平成三〇年度分（平成三〇年四月一日より平成三一年三月末日）納入のご案内を申し上げます。

当寺の墓苑管理料（一区画につき一万二千円/年）は、翌年度分を毎年三月末までに納付いただく前納制となっております。

納入方法は、ご持参もしくはお振込みでも可能です。

ご不明な点がございましたら寺務所までお問い合わせ下さい。



編集後記

平成三〇年がスタートし早いもので三ヶ月が過ぎました。もうすぐ桜の季節です。時の感じ方は人それぞれ違うものですが、その中で、与えられたものに向き合い挑戦し続けることが大切なことであり、同時に時間の質を高めることにもつながります。

授かった人としての素晴らしい命を、人々に捧げて生きる喜びを感じながら共に合掌の日々を過ごしていきたいです。

【墓苑管理料振込先】

銀行名 多摩信用金庫
秋川支店
口座番号 一五一六二四九
受取人名 宗教法人宝清寺
代表役員 石井前琮